

令和 7 年度の事業等について

1. 令和7年度実施事業について

がん診断前後の退職防止のための動画の広告配信

- 今年度作成した動画について、来年度もYouTubeでの広告配信を予定
- 配信方法については、今年度の実績を踏まえて検討
(使用動画、スキップの可否、ターゲティング等)
- 都保有の広報媒体（デジタルサイネージ、LINEプッシュ、Facebook等）にも時期をみて掲載
- 区市町村及び都内がん診療連携拠点病院等へも引き続き活用への協力を依頼

がんになった従業員の治療と仕事の両立支援セミナー

- 来年度もセミナーを2回開催予定（開催方法、プログラムについて要検討）
- ※内容の充実や、より幅広い企業に対して両立支援の理解促進を図るための工夫を検討
- ※病気の家族を持つ従業員のための介護休暇制度等についても、導入促進を図る

がん治療と就労の両立に向けた支援事業（大学提案事業）

- 今年度に引き続き、以下を実施
 - (1) 治療と就労の両立を念頭においた医療技術の開発
 - 研究成果についてまとめた資料を作成し、都内がん診療連携拠点病院等へ周知
 - (2) 治療と就労の両立のために患者が求める支援や課題抽出
 - 患者向けの資料の作成、普及
 - (3) リラックススペース、ワークスペースの検討及び設置
- 上記(1)(2)普及のためのシンポジウムの開催

2. 令和7年度以降の取組について

患者・家族と職場のコミュニケーションを促進・支援するための資材

▶背景

職場における両立支援は患者からの申し出により始まる。

- ・職場において、患者の状況や職場内制度に応じた最適な配慮・支援を講じるためには職場と患者の適切な意思疎通が必要
- ・がん患者を抱える家族が、患者の看護・介護と仕事の両立を図る場合においても、職場との適切な意思疎通が必要
- ・しかし、職場側は患者及び家族からどのような配慮を求められているかわからず、対応に苦慮しているケースもある。

➡患者及び家族と職場のコミュニケーションを促進・支援するための資材を作成

▶内容（案）

以下の内容を含んだ患者・家族向け資材を作成する

- ・がんの診断後、休職前、休職中、復職後、それぞれの状況に応じた職場とのコミュニケーションの図り方
- ・医療機関からの情報収集の方法
- ・配慮してほしい事項等の具体的な伝え方

2. 令和7年度以降の取組について

患者・家族と職場のコミュニケーションを促進・支援するための資材（続き）

▶参考

- ・「治療と仕事の両立支援ナビ」（厚生労働省）
(<https://chiryoutoshigoto.mhlw.go.jp/forsubject/>)
- ・「治療と仕事の両立支援ハンドブック」（厚生労働省）
(https://chiryoutoshigoto.mhlw.go.jp/dl/download/231003_chiryoun_handbook_web_A.pdf)
- ・「治療と仕事の両立支援カード」（厚生労働省）
(<https://chiryoutoshigoto.mhlw.go.jp/dl/download/card.pdf>)
- ・「治療サポ」（労災疾病臨床研究事業費補助金「事業場において治療と仕事の両立を支援するための配慮とその決定プロセスに関する研究」班（研究代表者：江口尚（産業医科大学）））
(<https://www.chiryoun-sapo.com/>)